



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 丸大食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2288 URL https://www.marudai.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐藤 勇二
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名） 森本 芳史 TEL 072-661-2518
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	120,290	1.4	4,210	46.1	4,442	41.3	3,194	△25.2
2025年3月期中間期	118,582	3.9	2,882	94.4	3,143	80.8	4,272	334.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 5,344百万円（31.4%） 2025年3月期中間期 4,068百万円（45.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	130.48	—
2025年3月期中間期	171.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	126,508	71,123	55.6	2,871.75
2025年3月期	120,920	67,007	54.7	2,704.30

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 70,300百万円 2025年3月期 66,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	65.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,000	1.3	7,000	28.0	7,400	22.2	5,500	0.2	224.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	26,505,581株	2025年3月期	26,505,581株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,025,575株	2025年3月期	2,025,463株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	24,480,077株	2025年3月期中間期	24,854,841株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数（中間期）の算定に当たり、控除する自己株式数には「役員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を含めております。
（2026年3月期中間期 128,000株、2025年3月期 一株）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などから、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策の影響や継続的な物価上昇による個人消費への影響、金融資本市場の変動などによる不確実性が高まっており、依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、原材料価格の高騰に加え、人件費、物流費などのコスト上昇に伴う価格改定の実施などにより生活必需品を中心とした物価上昇が続くなかで、消費者の先行きへの不安による節約志向の高まりや市場構造の変化がみられるなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当中間連結会計期間における売上高は前年同期比1.4%増の1,202億90百万円、営業利益は同46.1%増の42億10百万円、経常利益は同41.3%増の44億42百万円となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益は、前期に特別利益として固定資産処分益や投資有価証券売却益を計上したことの反動により、同25.2%減の31億94百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、「加工食品事業」セグメントのうち「調理加工食品部門」の一部を「ハム・ソーセージ部門」へ集計するよう変更しております。詳細は(セグメント情報)「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高(注)			セグメント利益		
	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額 (増減率)	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	79,347	81,604	2,257 (2.8%)	2,678	3,818	1,140 (42.6%)
食肉事業	39,176	38,623	△553 (△1.4%)	188	382	194 (103.1%)
その他	58	62	4 (7.0%)	16	9	△6 (△41.1%)
合計	118,582	120,290	1,708 (1.4%)	2,882	4,210	1,327 (46.1%)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	35,951	37,664	1,713 (4.8%)
調理加工食品	43,395	43,939	544 (1.3%)

(注) 前期数値は、変更後に組み替えた数値で記載しております。

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、発売30周年を節目にパッケージデザインを変更した「燻製屋」シリーズは、主力の「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」を中心に販促活動を実施したほか、通年商品として展開の「レモン&パセリ」の拡販や、新フレーバー「ブラックペッパー」を投入し、ラインナップの拡充を図ったことから売上高は堅調に推移しました。そのほか、環境に配慮したパッケージ資材を使用したロースハムなどの「たっぷり使える」シリーズや徳用タイプのウインナーの拡販、手軽で割安感のある「フィッシュソーセージ」は売場の活性化を図り売上拡大に努めました。また、外食向け業務用商品は、業態毎のニーズを捉えた商品提案などを実施し販路拡大に努めました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比4.8%の増収となりました。

調理加工食品部門では、レトルトカレー商品やスープ類などの売上高が伸び悩みましたが、健康志向の高まりから消費者ニーズに対応した「サラダチキン」の売上高が堅調に推移しました。また、デザート類において量販店向け「SWEET CAFÉ」シリーズの販売促進を強化したほか、コンビニエンスストア向け米飯類の売上拡大や飲料類の新商品投入などを図り、多角的な拡販に努めました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比1.3%の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比2.8%増の816億4百万円となりました。セグメント利益は、原材料価格の高騰、人件費・物流費などのコスト上昇の影響がありましたが、主力のハム・ソーセージ部門の増収や価格改定の実施、継続的なコスト削減の効果などから、前年同期比42.6%増の38億18百万円となりました。

② 食肉事業

牛肉については、国産牛肉は外食産業向け販売の販路拡大に努めましたが、量販店向け販売の販売数量が減少し売上高は若干前年を下回りました。輸入牛肉は豪州産ブランド牛肉の販売強化に取り組みましたが、米国産牛肉の相場高による影響から販売数量と売上高が伸び悩み前年を下回りました。豚肉については、外食産業向け販売において業務用商品の売上拡大に努めましたが、量販店向け販売は夏場の猛暑による出荷頭数の減少から相場高となったことや価格競争激化の影響などから売上高が低調に推移し、豚肉全体の売上高は前年を下回りました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比1.4%減の386億23百万円となりました。セグメント利益は、採算管理を徹底したことなどから、前年同期比103.1%増の3億82百万円となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比7.0%増の62百万円、セグメント利益は前年同期比41.1%減の9百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当中間 連結会計期間末	増減額
総資産	120,920	126,508	5,588
負債	53,912	55,384	1,472
純資産	67,007	71,123	4,116
自己資本比率	54.7%	55.6%	0.9

当中間連結会計期間末における総資産は、投資有価証券が32億19百万円、有形固定資産が12億10百万円、受取手形及び売掛金が5億34百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ55億88百万円増加し、1,265億8百万円となりました。

負債は、有利子負債20億58百万円の減少がありましたが、支払手形及び買掛金が23億51百万円、繰延税金負債が11億85百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ14億72百万円増加し、553億84百万円となりました。

純資産は、剰余金12億24百万円の配当がありましたが、親会社株主に帰属する中間純利益31億94百万円の計上、その他有価証券評価差額金20億90百万円の増加などから、前連結会計年度末に比べ41億16百万円増加し、711億23百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から0.9%上昇し、55.6%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,756	7,717	4,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△556	△4,066	△3,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,621	△3,427	193
現金及び現金同等物の増減額	△1,421	222	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,247	9,206	959

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益の計上、減価償却費の計上、運転資金の減少などから、77億17百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、40億66百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の減少や配当金の支払いなどから、34億27百万円減少しました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の中間期末残高は、前連結会計年度末から2億22百万円増加し、92億6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,983	9,206
受取手形及び売掛金	25,050	25,584
商品及び製品	12,628	12,628
仕掛品	524	579
原材料及び貯蔵品	7,499	7,470
その他	1,077	1,302
貸倒引当金	△17	△14
流動資産合計	55,746	56,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,248	60,583
減価償却累計額	△47,396	△47,299
建物及び構築物(純額)	11,852	13,283
機械装置及び運搬具	69,337	70,428
減価償却累計額	△61,186	△61,731
機械装置及び運搬具(純額)	8,151	8,696
工具、器具及び備品	4,467	4,573
減価償却累計額	△3,089	△3,109
工具、器具及び備品(純額)	1,377	1,464
土地	15,693	15,572
リース資産	7,575	6,329
減価償却累計額	△4,770	△3,679
リース資産(純額)	2,804	2,650
建設仮勘定	1,566	989
有形固定資産合計	41,446	42,656
無形固定資産		
	489	478
投資その他の資産		
投資有価証券	16,222	19,441
関係会社株式	433	382
長期貸付金	18	17
退職給付に係る資産	2,907	3,091
繰延税金資産	363	366
その他	3,405	3,424
貸倒引当金	△112	△109
投資その他の資産合計	23,238	26,615
固定資産合計	65,173	69,751
資産合計	120,920	126,508

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,047	21,398
短期借入金	8,275	7,774
1年内返済予定の長期借入金	2,646	2,404
リース債務	872	778
未払金	6,387	5,799
未払法人税等	931	1,250
未払消費税等	274	314
賞与引当金	822	953
構造改革引当金	71	—
その他	1,302	1,557
流動負債合計	40,630	42,231
固定負債		
長期借入金	5,361	4,275
リース債務	2,436	2,300
繰延税金負債	3,387	4,572
退職給付に係る負債	1,583	1,596
その他	514	408
固定負債合計	13,281	13,153
負債合計	53,912	55,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,073
利益剰余金	33,465	35,436
自己株式	△4,261	△4,249
株主資本合計	58,006	59,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,302	10,393
繰延ヘッジ損益	△5	3
為替換算調整勘定	120	98
退職給付に係る調整累計額	△222	△171
その他の包括利益累計額合計	8,195	10,324
非支配株主持分	805	823
純資産合計	67,007	71,123
負債純資産合計	120,920	126,508

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	118,582	120,290
売上原価	99,872	100,189
売上総利益	18,709	20,100
販売費及び一般管理費	15,827	15,890
営業利益	2,882	4,210
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	187	216
不動産賃貸料	79	77
その他	144	103
営業外収益合計	418	405
営業外費用		
支払利息	116	135
その他	40	38
営業外費用合計	156	173
経常利益	3,143	4,442
特別利益		
固定資産処分益	2,019	1
受取補償金	—	100
投資有価証券売却益	276	—
特別利益合計	2,296	101
特別損失		
固定資産処分損	90	118
減損損失	10	19
構造改革費用	35	38
製品自主回収関連費用	27	—
特別損失合計	164	175
税金等調整前中間純利益	5,275	4,368
法人税、住民税及び事業税	770	1,100
法人税等調整額	195	52
法人税等合計	965	1,152
中間純利益	4,310	3,215
非支配株主に帰属する中間純利益	37	21
親会社株主に帰属する中間純利益	4,272	3,194

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	4,310	3,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	2,090
繰延ヘッジ損益	△119	8
退職給付に係る調整額	△7	50
持分法適用会社に対する持分相当額	17	△21
その他の包括利益合計	△242	2,128
中間包括利益	4,068	5,344
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,030	5,323
非支配株主に係る中間包括利益	37	21

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,275	4,368
減価償却費	2,314	2,363
減損損失	10	19
構造改革費用	35	38
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△142	△101
受取利息及び受取配当金	△193	△224
支払利息	116	135
投資有価証券売却損益(△は益)	△276	—
固定資産処分損益(△は益)	△1,929	117
売上債権の増減額(△は増加)	2,394	△535
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,882	△30
仕入債務の増減額(△は減少)	574	2,351
未払消費税等の増減額(△は減少)	△227	39
その他	△781	△194
小計	3,285	8,339
利息及び配当金の受取額	215	275
利息の支払額	△116	△133
法人税等の支払額	△688	△745
法人税等の還付額	73	18
特別退職金の支払額	△12	△36
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,756	7,717
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△18	△20
投資有価証券の売却による収入	410	—
固定資産の取得による支出	△3,065	△4,065
固定資産の売却による収入	2,233	149
その他	△116	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△556	△4,066
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,155	△501
長期借入金の返済による支出	△1,497	△1,328
リース債務の返済による支出	△468	△376
配当金の支払額	△496	△1,217
自己株式の取得による支出	△0	△256
自己株式の処分による収入	—	256
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,621	△3,427
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,421	222
現金及び現金同等物の期首残高	9,668	8,983
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,247	9,206

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	35,951	—	35,951	—	35,951	—	35,951
調理加工食品	43,395	—	43,395	—	43,395	—	43,395
食肉事業	—	39,176	39,176	—	39,176	—	39,176
その他	—	—	—	58	58	—	58
顧客との契約から 生じる収益	79,347	39,176	118,523	58	118,582	—	118,582
外部顧客への売上高	79,347	39,176	118,523	58	118,582	—	118,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	456	456	△456	—
計	79,347	39,176	118,523	514	119,038	△456	118,582
セグメント利益	2,678	188	2,866	16	2,882	—	2,882

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	37,664	—	37,664	—	37,664	—	37,664
調理加工食品	43,939	—	43,939	—	43,939	—	43,939
食肉事業	—	38,623	38,623	—	38,623	—	38,623
その他	—	—	—	62	62	—	62
顧客との契約から 生じる収益	81,604	38,623	120,228	62	120,290	—	120,290
外部顧客への売上高	81,604	38,623	120,228	62	120,290	—	120,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	413	413	△413	—
計	81,604	38,623	120,228	475	120,703	△413	120,290
セグメント利益	3,818	382	4,200	9	4,210	—	4,210

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、生産体制の変更などに伴い「加工食品事業」セグメントのうち「調理加工食品部門」の一部を「ハム・ソーセージ部門」へ集計するよう変更しております。

なお、前中間連結会計期間の部門別情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。